

参加した コース	ふじのくに地域探究コース ( 農林水産業みらいプロジェクトコース )		訪問国	ミクロネシア連邦 ポンペイ	
学校名	静岡県立焼津市立水産高等 学校	氏名	林 桜子	学年	高校 2 年

## 1 目的・応募理由

静岡県のサクラエビ資源の減少と同じく、全国的に漁獲量の減少が課題と考えています。その課題を改善するために、漁業が盛んに行われているポンペイ周辺海域はどのような漁況や海洋環境になっているのかを調査し、静岡のサクラエビ資源を増加させるためのヒントにしたいと考えました。また、船員の人手不足も魚の漁獲量が増えることで解決につながるのではないかと考えました。

## 2 研修内容・日程等

現地にあるカツオ・マグロ類の資源保護と漁獲規制をしている国際機関で講義を受けました。外国からミクロネシア 200 カイリ内に入る漁船の受け入れをしている企業に行き、どこの国からの入漁が多いのかを調査した他、サンゴの保護活動を行っている団体の活動に参加し、実際に海に潜ってサンゴの白骨化がどの程度進行しているのか、海洋ゴミの量などの調査をしました。また、現地にある日本国大使館に行き、ポンペイ島内の生活状況や環境汚染について話を聞いたり、現地の漁師、さんや、海外から来ているカツオ漁船の船員（漁師）からも聞き取り調査を行いました。



私たちは3人のチームで留学したので、現地での生活はアパートを借りた共同生活をし、滞在費用節約のために自炊をしたり、毎日のように停電して、お湯が出ないので水のシャワーを浴びたりと大変でしたが、日々忙しい研修に追われながらも実のある生活がで



きました。高校の同級生と外国で一緒に生活するのは二度とないので、とても貴重な機会だったと思います。

### 3 感想等

とても楽しく大変な14日間だったので、ここまで記入しながら、改めて自分の16年間という人生の中で今回の留学がどれほど大きく心に残っているか実感しました。私が得たものは、行動力と飛び込む力です。留学中、自分からアクションを起こさなければいけないという場面に何度も直面しました。状況を説明してもらったり、値段を聞いたり、質問をしたりという場面の連続でしたが、黙っていたって相手の人は何も感じてくれることはないが、間違っていたとしてもそれを必死になって話す、やる姿勢を持つことで人の関心は自分に向くのだということを実感しました。そのおかげで、以前の私よりも発言できる場で自分の意志を持って言うことができるようになっていて実感しています。何事もやる気と勇気と自分の意志が必要不可欠だということ学びました。

今回の留学の思い出は一生の宝ものだと思っています。未だに留学に行ったメンバーで集まれば思い出話をするすることがあり、何て良い留学で良い友達を持ったのだろうと思います。それほどまでに私たちの留学は素晴らしいものになりました。

次の目標はもう決まっています。今度は、ポンペイ島のようなゴミの処理施設が確立していない場所で、ごみ処理を提案することです。今回の留学で、日本がどれほどまでに清潔で恵まれている国なのかを身をもって実感しました。今でも留学中の生活を思い出すたびにハードで、日本ではあまり現実味のない生活だったと振り返ることができます。だからそれぞれのニーズや課題に合ったゴミの処理方法を提案していきたいと思います。ゴミが溢れている地域には事の重大さと、どうしたらポイ捨てなどをやめさせることができるかなどの適切なアプローチをしていきたいです。そのような取り組みが海洋環境問題の解決にもつながっていくものと考えています。

